

水田たより 11月号

令和7年11月4日

JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

麦

苗立ち安定対策について

初期生育を確保するため苗立ちの安定を目指しましょう！

○砕土率は 70% 程度（砕土率… 2 cm 以下の土塊比率）

播種前の耕起はほ場が乾いた状態で行い、回転数を調整しましょう。



砕土率 70%程度

【砕土が不足している場合】

- ・ 土塊によって発芽が阻害されます。
- ・ 除草剤の処理層が均一に形成されず除草効果が低下します。

【砕土が過剰の場合】

- ・ 降雨によるクラストの発生（土壌表面が固まる）が助長されます。



砕土不足

また、団粒構造が十分に発達していないほ場でもクラストが発生しやすいです。堆肥等の有機物資材を施用し土づくりしましょう。

○播種深度は 3 cm 程度

ほ場で播種し始めてから数mたったなら、播種深度を確認し機械の調整を行いましょう。



クラスト発生による
苗立ち不良田

【播種深度が深い場合】

- ・ 発芽不良が生じたり、発芽に時間を要し生育遅れが生じたりします。

大豆

収穫時の対策で品質向上しましょう！

県産大豆では汚粒や異物混入などの問題が発生しており実需からは品質向上が求められています。また、汚粒や異物混入は等級落ちの主要因で、品代や数量払いの単価にも影響しています。

○収穫前の手取り

アサガオ類やホオズキ類、ケイトウ類など収穫時までほ場に残る雑草や青立株は汚粒の原因になります。また、アサガオの種子やジュズダマの実 は異物混入の原因になります。発生のあるほ場では抜き取ってください。



ジュズダマ
選別機での除去が困難

○収穫適期の目安

- ・ 成熟期の 7～14 日後
（成熟期… 茎や莢の青みが抜け、莢を振るとカラカラという音がする）
- ・ 子実水分 18% 以下
- ・ 茎水分 50% 以下（茎の青みが抜け黒みを帯び手でポキッと折れる）
- ・ 時間帯によって水分率は変化します。日の出直後や夕方以降の収穫は控えましょう。

○刈り取り高さ

土が混入しないよう地際から約 10cm を目安に、ほ場で試し刈りし高さ調節を行ってください。

○収穫時に汚粒が発生してしまった場合は、汚粒以外とは分けて管理してください。

10 月 16 日時点の検査状況は、令和 6 年産米と比べて 2 等米、3 等米の比率が高くなっています。2 等、3 等の格付け理由のほとんどが白未熟粒です。

なお、「コシヒカリ」と比べ、高温耐性品種である「なついろ」、「にじのきらめき」、「三重 23 号」の 2 等米、3 等米の比率は低くなっています。

令和 7 年産米 検査状況（桑名管内・10 月 16 日時点）

品種名	1 等	2 等	3 等
	等級比率	等級比率	等級比率
あきたこまち	27.5% (54.6%)	71.5% (41.9%)	1.0% (3.5%)
コシヒカリ	2.7% (27.3%)	65.5% (59.7%)	31.8% (12.9%)
キヌヒカリ	23.1% (2.1%)	50.0% (71.0%)	26.9% (26.9%)
なついろ	95.6% (88.7%)	4.4% (9.1%)	0% (2.1%)
にじのきらめき	15.0% (100%)	79.1% (0%)	5.9% (0%)
みえのゆめ	0% (100%)	24.2% (0%)	75.8% (0%)
ミルキークイーン	56.8% (45.5%)	37.3% (54.5%)	6.0% (0%)
三重 23 号	73.6% (80.0%)	26.4% (20.0%)	0% (0%)

（補足）高温耐性品種の特性

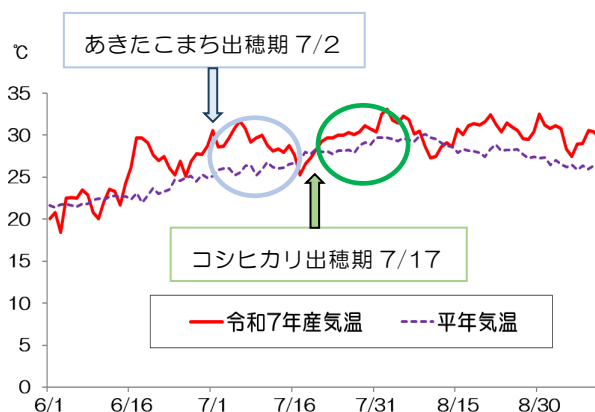
品種名	収穫時期 (コシヒカリ比較)	収量	病害虫	耐倒伏性
なついろ	約 1 週間早い	◎	◎	◎
にじのきらめき	約 1 週間遅い	◎	◎	◎
三重 23 号	約 1 週間早い	○	○	◎
(コシヒカリ)	-	○	△	△

※()内は令和 6 年産米の 10 月 16 日時点の検査状況

令和 7 年産の「あきたこまち」（基準田 4 月 7 日移植）、「コシヒカリ」（基準田 4 月 27 日移植）では、出穂期以降、高温が続き、白未熟粒が発生しやすい環境でした。

近年暑い夏が続いており、今後も白未熟粒が発生しやすい環境となることが懸念されます。

ケイ酸資材の施用、耐暑肥など白未熟粒対策が重要です。詳しくは過去の水田たよりでご確認ください（令和 7 年 2 月号、令和 7 年 6 月号など）。



その他

経営関係の相談について～農業経営の悩みを解決しませんか？～

三重県では、相談者ごとに三重県農林水産支援センター、専門家、普及センター等が連携した支援チームを編成し、経営診断、経営戦略の策定、専門家派遣による伴走支援等を行う支援事業に取り組んでいます。お申し込みは、桑名普及センター又は三重県農林水産支援センター（Tel:0598-48-1226）まで。



＜三重県農林水産支援センターの PR リーフレット「農業経営相談窓口のご案内」から抜粋＞

※経営相談にあたっては、専門家による経営分析を行うため、過去 3 年分の決算書等経営情報の提出をお願いします。

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページでご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索